

飛行機の仕組みに夢中

輪之内町の児童が講座



作った紙飛行機を飛ばす児童ら＝輪之内町中郷新田、町文化会館

輪之内町の小学生を対象にした生涯学習講座「わのうち未来塾」が、同町中郷新田の町文化会館で行われ、参加した子どもたちが飛行機の仕組みについて学んだほか、紙飛行機を飛ばして楽しんだ。

同講座は夏休み中の児童らに、文化や歴史に関心を持ってもらおうと、町が毎年行っている。中日本航空専門学校(関市迫間)の職員ら3人を講師に招いた。

4～6年生の児童約50人が参加。職員から「翼が上向きになっており、空気を

使って飛ぶ」など機体の仕組みについて解説を受けた。その後、配布されたキットで紙飛行機作りに挑戦。機体に翼を付けたり、おもりをのせたりして完成させると、一列になって「セー」の声を合わせて、思い切り飛ばした。

飛行機の操縦ができるシミュレーターやドローン体験もあり、子どもたちは歓声を上げながら楽しんだ。大藪小学校6年の棚橋瑠生さん(12)は「下向きに投げると長く飛んだ。楽しかった」と振り返った。

(西垣剛大)